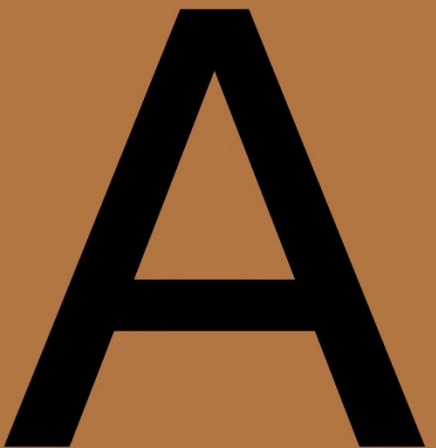
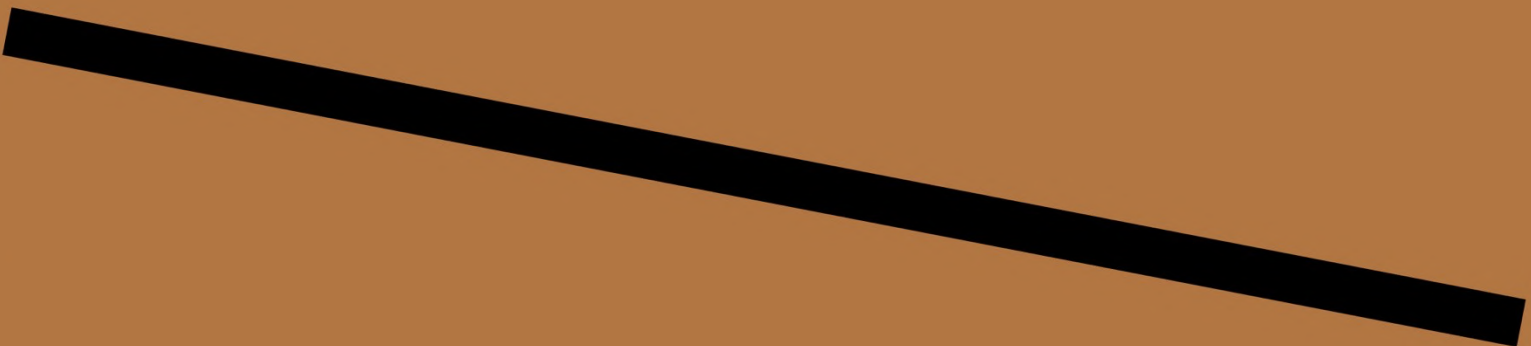
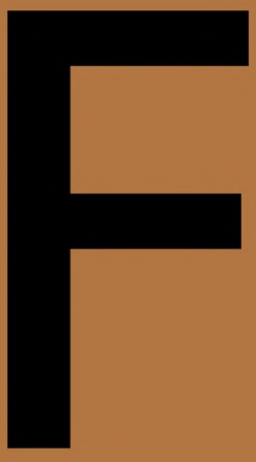
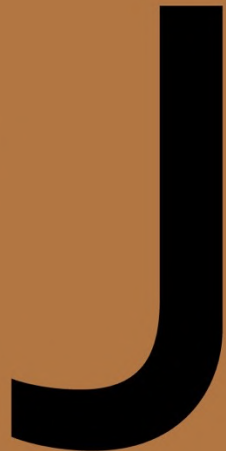


ART JOB FAIR 2023



1.28 Sat – 29 Sun
KAIKA TOKYO



開催報告書

目次

主催者挨拶	3P
開催結果	5P
プログラム	10P
広報・制作物	14P
来場者アンケート	17P
出展者アンケート	21P
総括	25P

主催者挨拶



主催者挨拶

アートの仕事や仲間に出会える日本初のアート業界に特化したジョブフェア「ART JOB FAIR 2023」の開催にあたり、クラウドファンディングでご支援をいただきました皆様、ご来場の皆様、ご出展の皆様、そしてご協賛・ご後援をいただきました皆様に心より御礼を申し上げます。

本事業はコロナ禍の2021年に、アーツカウンシル東京が主催する「芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座」で出会った受講仲間との出会いや交流がもとに発案にいたりしました。

受講仲間との学びあいのなかで、感染症を契機とした文化芸術の活動の自粛や中止・延期は、文化芸術の表現を支える担い手（アートワーカー）の雇用や育成にも大きな影響をもたらしたことを知り、文化芸術領域全般において、キャリアアップやスキルアップがしづらいという実態を受け、アートジョブフェアを立ち上げることになりました。

アートジョブフェアの趣旨や内容を、様々な方にヒアリングするなかで、共感や応援してくださる方に出会い、2022年4～5月に取り組みを実現するためのクラウドファンディングに挑戦しました。結果162名の方から、2,515,000円（達成率125%）のご支援をいただくことができました。そして7月から全国の文化芸術団体に出展を募り、9月からご協賛やご後援の団体を募り、11月からアートに関わる仕事を探している求職者（来場者）の募集を行いました。

そして2023/1/28（土）1/29（日）にKAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS を会場に「ART JOB FAIR 2023」を開催し、2日間を通して310名の方にご来場をいただき、盛況のうちに終了いたしました。

本報告書は、「ART JOB FAIR 2023」の結果をまとめたものになります。今回の事業結果やアンケートのご意見をふまえ、次の2回目の開催に向けて準備を進めたいと考えています。今後ともアートジョブフェアにご支援、ご協力をいただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社artness 代表取締役 高山健太郎

開催結果



開催結果

日本初、アートの仕事や仲間に出会える アート業界に特化したジョブフェア

新型コロナウイルス感染症によって、文化芸術活動の自粛や中止、延期は、芸術表現を支える担い手の雇用や育成にも大きな影響をもたらしました。以前より文化芸術に関わる仕事は、人生設計がしづらい、キャリアアップやスキルアップがしづらいという実態がありました。が、コロナ禍を機に課題がより顕著になりました。

そこで、2023/1/28（土）1/29（日）に、アートの仕事や仲間に出会える日本初のアート業界に特化したジョブフェア「ART JOB FAIR 2023」をアートストレージホテル KAIKA 東京（東京都墨田区）にて開催しました。

「アートの働き方に光をあてる」をテーマに、求人情報をオープンにし、誰でも参加できる透明性の高い、文化芸術の担い手のリアルな出会いの場として、全国各地のアート団体10社が出展しました。また、齋藤精一氏等の多彩な講師が出演し、アート業界のキャリアアップ、スキルアップに役立つ8つの講座を開催しました。

雇用者・求職者双方が、実際に顔をあわせ深く知り合い、多くの出会いの中から共振できる仲間巡りにあう機会になりました。

「ART JOB FAIR」は、ウィズコロナ・アフターコロナの文化芸術の活動基盤の強化を目指し、3カ年でアート業界に特化したジョブフェアのプラットフォームとして定着を目指します。

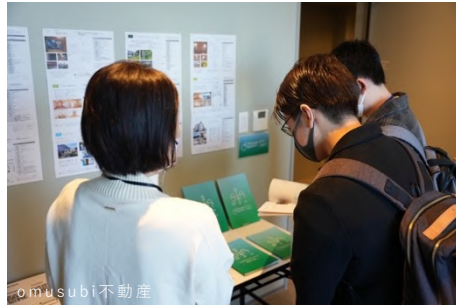
名称 | ART JOB FAIR 2023
会期 | 2023/1/28（土）11:00-18:00, 1/29（日）11:00-18:00
入場 | 無料（事前オンライン受付）
会場 | KAIKA 東京 by THE SHARE HOTELS
住所 | 東京都墨田区本所2-16-5
主催 | 株式会社artness
協賛 | 株式会社ロフトワーク、三菱地所株式会社
後援 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

クラウドファンディングで開催資金をご支援いただいた皆様（敬称略）

酒井佑介 アトリエヤマダ 柏井宏太郎 株式会社中村人形 万波智美
中村天江 渡邊もも 小津誠一 都村智史 吉村寿博 森由香 北島優
カフェ&ギャラリーミュージゼ mém/前田健治 上野智博 坂本英之 mako
ナカダ株式会社 Twelve Inc. ひら松さん 田森葉一 川村達也 Yuka
CERAMIC CELLS 今西泰起 水口克夫 玉匣 山内真理 株式会社兼六
galleria PONTE 白崎達也 Miyu Okazaki 白鷺美術 塚口麻里子
國廣純子 佐々木雅幸 吉本光宏 山口洋典 森口ゆたか quod,LLC
墨屋宏明 DART株式会社 代表取締役CEO Mitsui Wataru 古谷晃一郎
Gerd knäpper Gallery 神崎淳子 菊池まどか totem 貴田雄介
TRA-TRAVEL 室谷智子 岩関禎子 富山亮太 高本敦基 井出温美
奥祐司(合同会社OQ works) KAWASHIMA Johnny Kay 佐野浩祥
オカヒロシ 宮永満祐美 作田知樹 しょうぶ学園 Takuo 西尾美也
Art Explorer 朝倉由希 Sachiyo 写真家 迎 崇 石崎陽之 上野崇
西川和宏 MARC AND PORTER 寺田征弘 谷内吉紀 西村松逸
武野一雄 キュウキマサヒコ 大森慶宣 Hoshino やち塗装工業 他

開催結果

出展者数 10社 ※コロナ罹患のため1社当日出展中止



NPO法人アーツセンターあきた
教育・まちづくり | 秋田

omusubi不動産
まちづくり | 千葉

アトリエヤマダ
舞台美術・まちづくり | 東京

一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン
文化芸術 | 東京

一般社団法人 Japanese Film Project
映画 | 東京

じおらま (劇団)
演劇 | 東京

合同会社上出盗藝
工芸 | 石川

エイキット株式会社
空間づくり | 岐阜

ACTUAL Inc. (ART360°)
映像・メディア | 京都

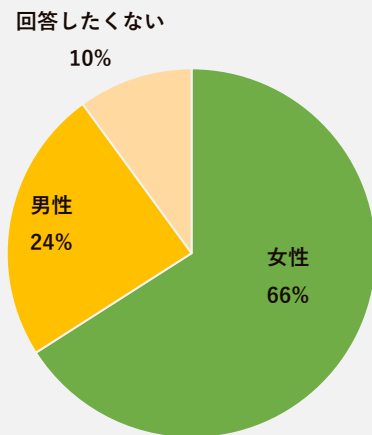
Twelve Inc.
美術・映像 | 京都

開催結果

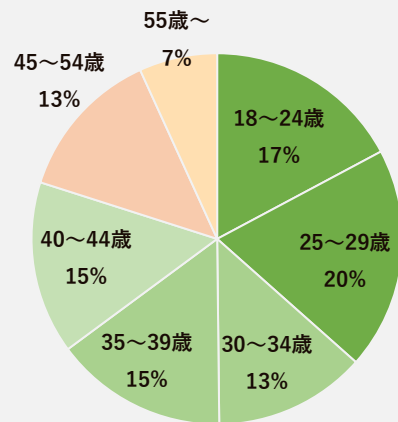
来場者数 **310名** (1日目：180名、2日目：130名) ※受付名簿、および来場者アンケートに基づく

- ✓ 性別は 2/3が女性で、多い順に「女性」66%「男性」24%「回答したくない」10%でした
- ✓ 多世代の来場がありましたが、年齢の多い順に「25～29歳」20%「18～24歳」17%「35～39歳」15%でした
- ✓ 所属は「会社員」「学生」が多く、また「専門職」「アーティスト」「フリーランス」など個人で活動する方も多くご来場いただきました
- ✓ 居住地は「東京都」が一番多く、9割は関東圏でしたが、関東圏以外の17府県からもご来場いただきました
- ✓ 海外にルーツをもつ在留外国人の方も26名（全体の8%）ご来場いただきました

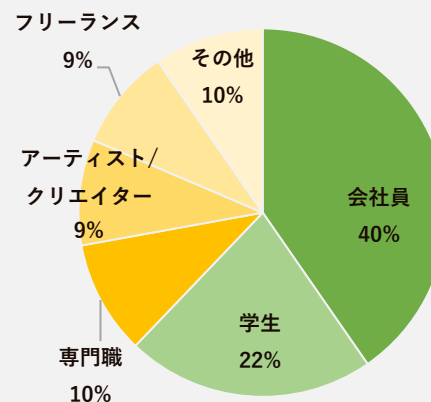
性別



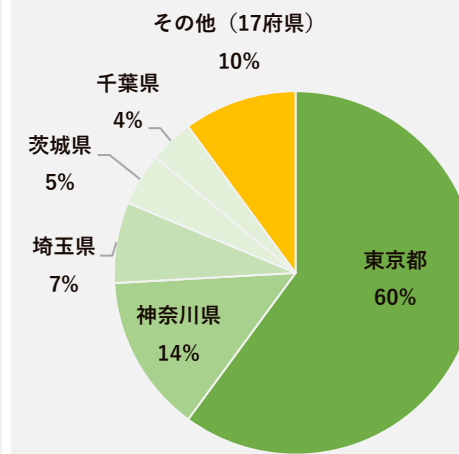
年齢



所属



居住地

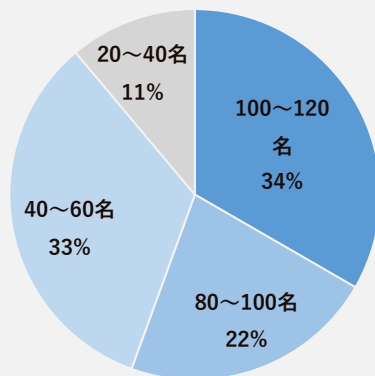


開催結果

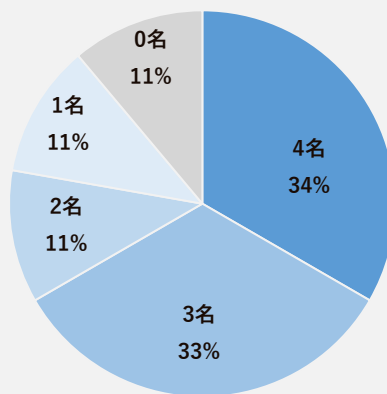
採用や業務委託に発展予定 24名 ※出展者アンケートに基づく

- ✓ 出展者がフェア期間中に求職者と会話や交流をした人数は、多い団体で100~120名、少ない団体で20~40名でした。平均すると1社あたり80名でした
- ✓ 会話や交流をしたなかで、採用や業務委託に発展予定の人数は、多い団体で4名、少ない団体で0名でした。平均すると1社あたり3名でした
- ✓ 採用や業務委託に発展しそうな人数を合計すると24名という結果になりました

出展者が期間中に
求職者と会話や交流した人数



そのなかで採用や業務委託
に発展予定の人数



プログラム



プログラム

会期前トークイベント4回 | 参加者 249名

- ✓ 会期前にオンラインのトークイベントとして、ジョブチェンジ向け、キャリア復帰向け、未経験者向けと、3回にわたりイベントを行いました
- ✓ 遠方で会場に来られない求職者向けに、フェア開催1週間前の1/20（金）に出展団体が一同に集まるオンライン説明会を開催しました

2022/11/29（火）19:00-21:00 | アートの仕事へ。いざジョブチェンジ！ | 出演者 中村天江 辻勇樹 関口智子 高山健太郎 | 参加者92名
 2022/12/14（水）19:30-21:30 | アートの仕事へ。いざキャリア復帰！ | 出演者 野田智子 近藤香南子 太下義之 高山健太郎 | 参加者65名
 2023/ 1/ 9（月）19:00-21:00 | アートの仕事のキャリアオーナーシップ | 出演者 安田幸代 上出恵悟 三富章恵 高山健太郎 | 参加者37名
 2023/ 1/20（金）19:00-21:00 | 開催直前 ART JOB FAIR 2023 オンライン説明会 | 出演者 AJF出展10団体 | 参加者55名
 ※会期後開催 2023/3/10（金）19:30-21:00 | ART JOB FAIR 2023 開催報告会 | 出演者 高山健太郎 | 参加者54名



プログラム

会期中トークイベント8回 | 参加者 188名

✓会期中に、齋藤精一氏等の多彩な講師による、アート業界のキャリアアップ、スキルアップに役立つ8つの講座を開催しました

2023/1/28 (土) 14:00-14:45	芸術表現を支えるプロデュースの仕事 出演者 齋藤精一 参加者24名
2023/1/28 (土) 15:00-15:45	アートの創造性をビジネス街に取り入れる新たな実践「YAU」 出演者 森晃子 中森葉月 参加者24名
2023/1/28 (土) 16:00-16:45	アートで働く人の処方箋になりえるプロジェクトマネジメントの論理的手法 出演者 原亮介 藤原さゆり 参加者23名
2023/1/28 (土) 17:00-17:45	芸術表現を発展させる、プロデュースとマネジメントの力 出演者 齋藤精一 原亮介 井上成 太下義之 参加者24名
2023/1/29 (日) 14:00-14:45	アートの担い手のためのキャパシティビルディング講座 出演者 今野真理子 参加者25名
2023/1/29 (日) 15:00-15:45	アートの担い手支援ー講座事業を通じたエンパワメント 出演者 塚口麻里子 参加者22名
2023/1/29 (日) 16:00-16:45	アートの担い手のための会計・税務講座 出演者 山内真理 参加者 17名
2023/1/29 (日) 16:00-16:45	文化芸術の活動基盤の強化に求められること 出演者 今野真理子 塚口麻里子 山内真理 吉本光宏 参加者24名



プログラム

その他のプログラム

懇親会・前夜祭 | 参加者60名

- ✓ 1/28の初日終了後に、会場となったKAIIKA 東京 1階のカフェにて懇親会を開催しました。出展者、来場者、トークイベント講師など参加を希望した50名が参加し、自己紹介や名刺交換など親睦を深めました
- ✓ 1/27の前日の搬入作業後に、参加を希望した10名の出展者が前夜祭に参加し、出展者間の横のつながりを深めました



キッズスペース | 利用者12名

- ✓ フェアの会期中、お子さん連れの求職者や出展者向けに、無料のキッズスペースを用意し、述べ12名のお子さんが利用しました (利用年齢 1歳：3名、2歳：2名、3歳：3名、5歳：4名)
- ✓ キッズスペースの運営は、子どもを対象にしたワークショップを行うアーティストに依頼し、段ボール工作やおもちゃ遊びなどを行いました



インフォメーションスペース

- ✓ フェアの会期中、会場内にインフォメーションスペースを設け、中間支援を行う文化芸術団体の講座情報や補助金情報等のチラシを配架しました
- ✓ インフォメーションスペースには、求職者が休憩できるソファや椅子等、そしてトークイベントを視聴できるモニターを用意しました



広報・制作物



広報・制作物

広報

メディア掲載

✓ 「ART JOB FAIR 2023」のメディア掲載数

掲載数：62

主な掲載先：CINRA ネットTAM 美術手帖 artscape AXIS
TOKYO ART BEAT のくらし paper C KOGEI STANDARD 等

ウェブアクセス

✓ 「ART JOB FAIR 2023」のウェブページのアクセス数

期間：2022/7/25～2023/1/31

ユーザー数：6,434

ページビュー数：14,044

SNS フォロワー

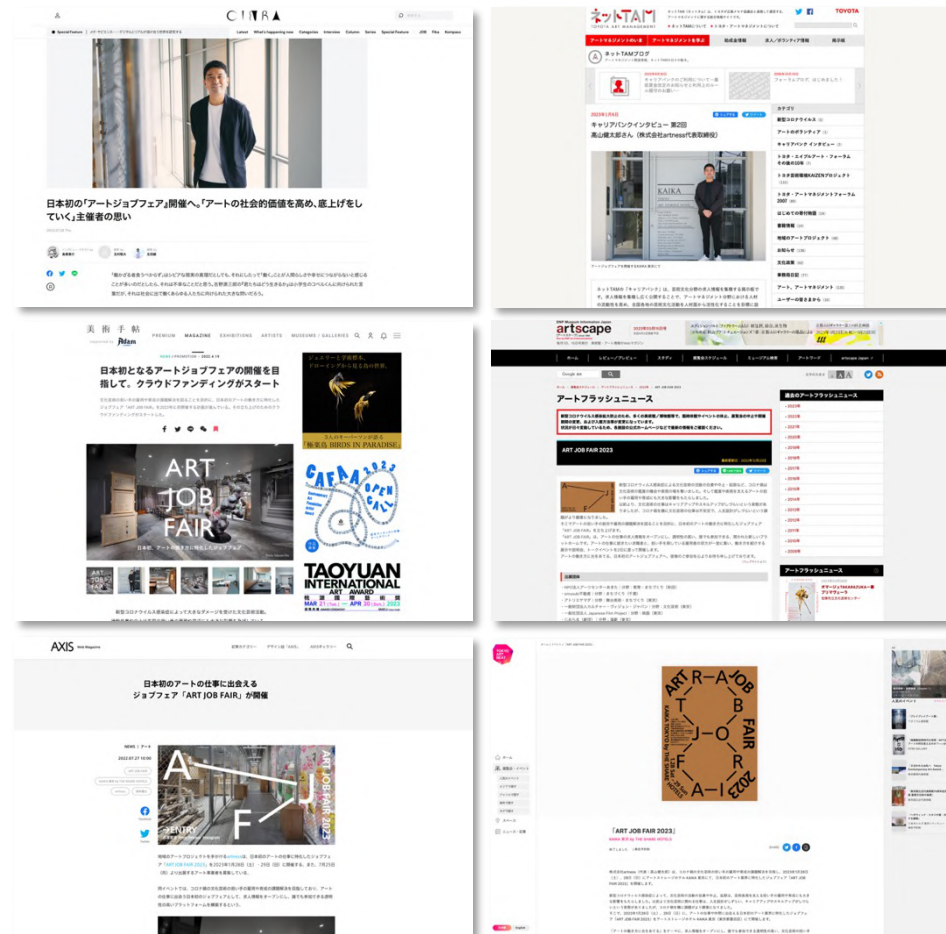
✓ 「ART JOB FAIR 2023」のSNSフォロワー数（2023/3/30時点）

Instagram：336（開設 2022/5/24）

Facebook：230（開設 2022/4/5）

Twitter：100（開設 2022/10/15）

Youtube：33（開設 2022/11/30）



広報・制作物

制作物

ロゴデザイン

✓ 芸術祭やアートフェアなどのロゴやサインを手掛ける田中義久氏に依頼

- ・「ART JOB FAIR」の頭文字と、それらを結ぶ線によって構成
- ・多種多様な立場の人々が集い繋がることで新たな職の可能性を発見する
- ・素粒子である「A」「J」「F」と線は今後、関係を変化させながら展開
- ・無限の物質へと変容するように、出会いの輪が広がり、新しい可能性が紡がれていく、などの意味が込められている

チラシ

✓ B5サイズのチラシを2,500部ずつ4種類、10,000枚作成



ウェブサイト

✓ 出展者募集ページを2022/7/25に公開、本公開は2022/11/29



その他（看板・Tシャツ・名札）



来場者アンケート



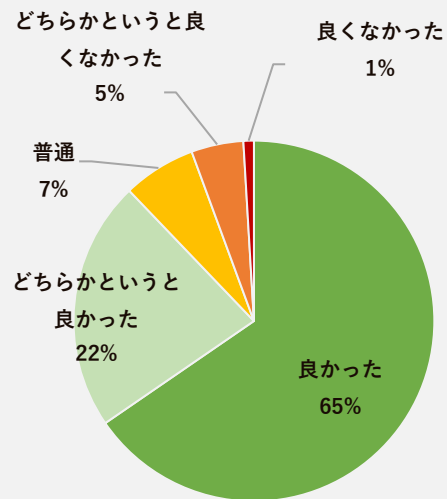
来場者アンケート

回答数108名 | 回答率35%

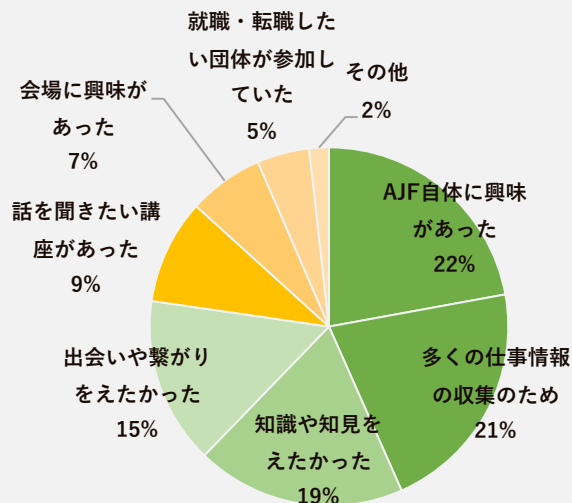
※アンケート回答期間 2023/1/28-2/6 (10日間) ウェブフォームによる回答

- ✓ 来場者の満足度は「良かった」65%「どちらかという良かった」22%と、概ね良かったが87%という結果になりました
- ✓ 来場動機は、多い順に「ART JOB FAIR (AJF) 自体に興味があった」「多くの仕事情報の収集のため」「知識や知見をえたかった」「出会いや繋がりをえたかった」「話を聞きたい講座があった」と複合的な目的をもってご来場をいただきました
- ✓ 概ね良かったが87%であったことから、来場動機に見合う結果が、概ね得られたと思われます
- ✓ AJFを知ったきっかけは、人や団体の紹介が32%と一番多いものの、各種SNSを合計すると42%と、SNSが一番多い結果となりました

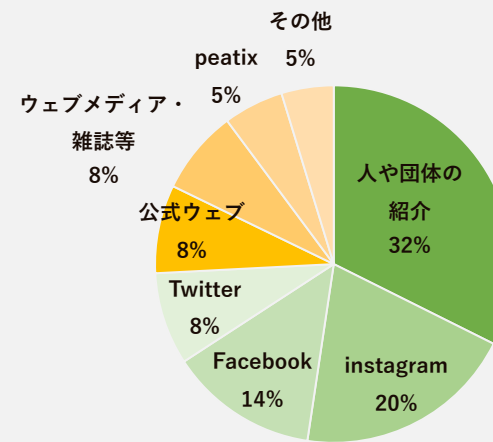
満足度



来場動機



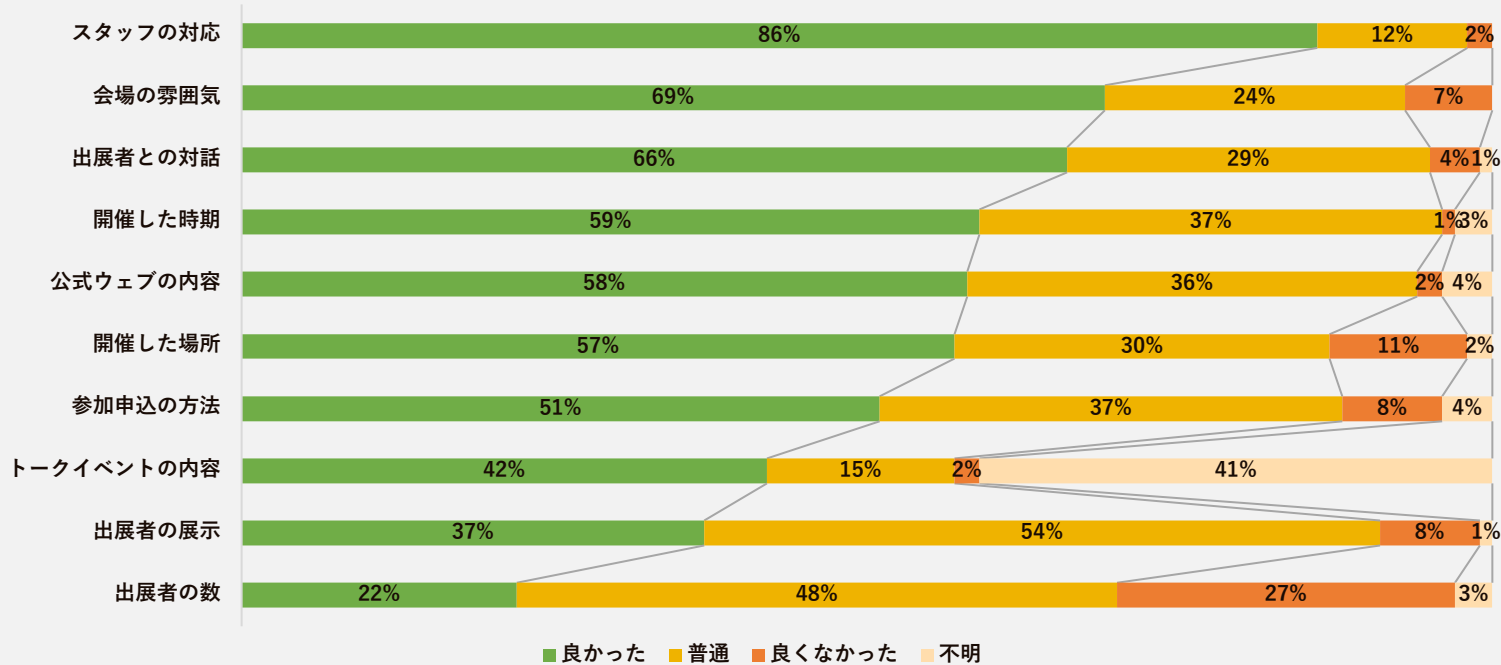
AJFを知ったきっかけ



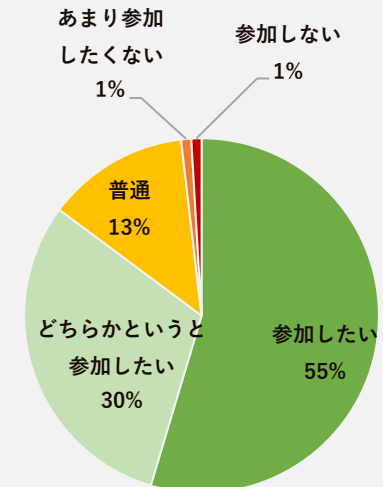
来場者アンケート

- ✓ 内容別満足度は、高い順に「スタッフの対応」「会場の雰囲気」「出展者との対話」「開催した時期」「公式ウェブの内容」となりました
- ✓ 内容別満足度は、低い順に「出展者の数」「出展者の展示」「参加申込の方法」「開催した場所」となりました
- ✓ 出展者の数にあたっては、良くなかったという意見が27%と多くあり、2回目に開催する際には出展者数の増加が必須と考えています
- ✓ 次回も参加したいが55%、どちらかというに参加したいが30%と、概ね参加したいが85%という結果になりました
- ✓ 次回も参加したいという回答は通常のジョブフェアでは僅かですが、本ジョブフェアの複合的な価値提供の結果を示していると思われます

内容別満足度



次回の参加について



来場者アンケート

良かった意見

“合説のような固い感じなのかなと不安に思っていたのですが、出展者や来場者同士が繋がれるような多目的に利用できる催しで大変良かったです”（女性/20代/未経験）

“とても良いフェアで、私自身も今後のキャリアについて考える機会にもなり、今後お付き合いしていけるような人たちとの出会いの場にもなった”（女性/30代/ジョブチェンジ）

“ジョブチェンジを諦めないといけない年齢に差し掛かりましたが、面談や懇親会でお話を伺った企業にはトライしてみようと思いました”（女性/50代/ジョブチェンジ）

“出展者とじっくりお話しができて自分がやりたいことを整理する機会になりました。コロナ禍で職場以外の人たちと話す機会が減っていたので、刺激をもらえました”（女性/20代/キャリアアップ）

“キッズスペースもあり「誰でも参加できる開かれた場」が実践されていました。多様な人がいるなかで丁寧に立ち上げられた、とても居心地の良いジョブフェアでした”（女性/20代/トーク参加）

“文化芸術に関する仕事がしたいと思っても、その透明性の低さにモチベーションを削られてしまうことを繰り返してきました。AJFのような顔の見えるコミュニケーションの中で仕事について考えられる場が増えることを願うばかりです”（女性/20代/未経験）

改善を期待する意見

“ホテルの個室を各出展団体さんのブースとしていたのは個性が出て面白いなど感じる反面、やはりアートフェアのような開かれた場のほうが入りやすいと思います”（女性/20代/未経験）

“資料を見るだけ…話しを少し聞きたい…という雰囲気ではなく、ガッツリ個人面談という感じでした。逆に個人面談をしたい人には良い開催形式だったのかもしれませんが”（男性/20代/ジョブチェンジ）

“もっと多くの職種、業種の企業出展があればより良かった。ブース自体も一つ一つが若干小さく、もう少し広ければ展示も見やすく、出展者とも話しやすくて良かったのではないかと”（女性/20代/未経験）

“今回、出会いの場としての機能は一定程度果たしていたと思われる。一方で、就業条件の可視化など、就職や仕事を見つける機能の充実が望まれるのではないかと”（男性/50代/視察）

“面談ブースと、ポスター発表のように気軽に話を聞けるセッションがあればよりいろんなところの活動をみられたかなと思います”（女性/20代/ジョブチェンジ）

“アート業界が依然として閉鎖的・封建的であることは伝わってきました。今回は問題自体を可視化したことに大きな意義があると感じました。今後出展者が増え求職者側も交えた意見交換が行われ、健全化へ向かうことを期待します”（女性/20代/トークの参加）

出展者アンケート



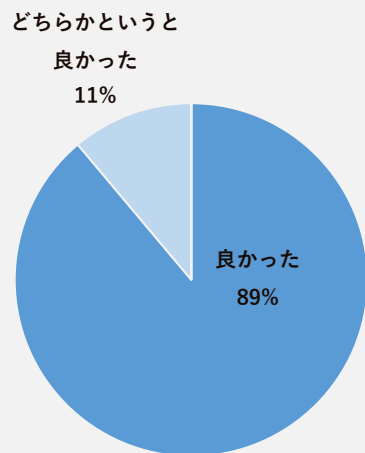
出展者アンケート

回答数9社 | 回答率100%

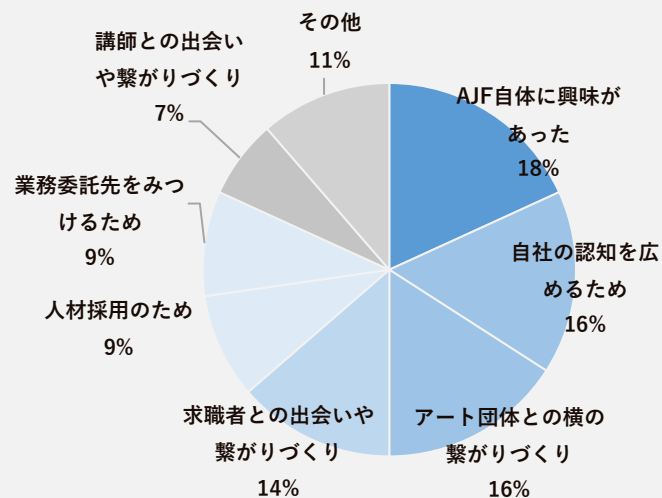
※アンケート回答期間 2023/2/1～2/10（10日間）ウェブフォームによる回答

- ✓ 出展満足度は、良かったが89%、どちらかという良かったが11%と、出展者の満足度が高い結果となりました
- ✓ 出展動機は、多い順に「ART JOB FAIR（AJF）自体に興味があった」「自社の認知を広めるため」「アート団体との横の繋がりづくり」「求職者との出会いや繋がりづくり」「人材採用」「業務委託先を見つけるため」と複合的な目的がありました
- ✓ 出展満足度が高かったことは、出展した目的に見合う結果が得られたものと推測ができます
- ✓ 出展費用や交通費等かかった費用に対する効果は、良かったが56%、どちらかといえば良かったが22%と、78%は概ね良かったという結果でした

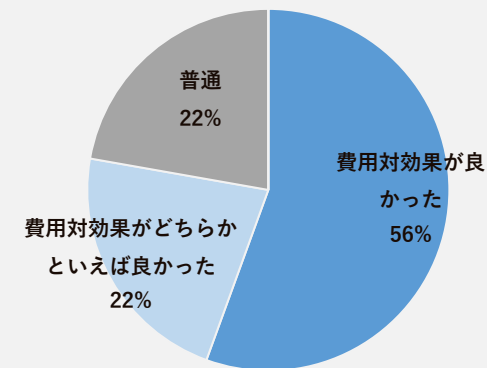
満足度



出展動機



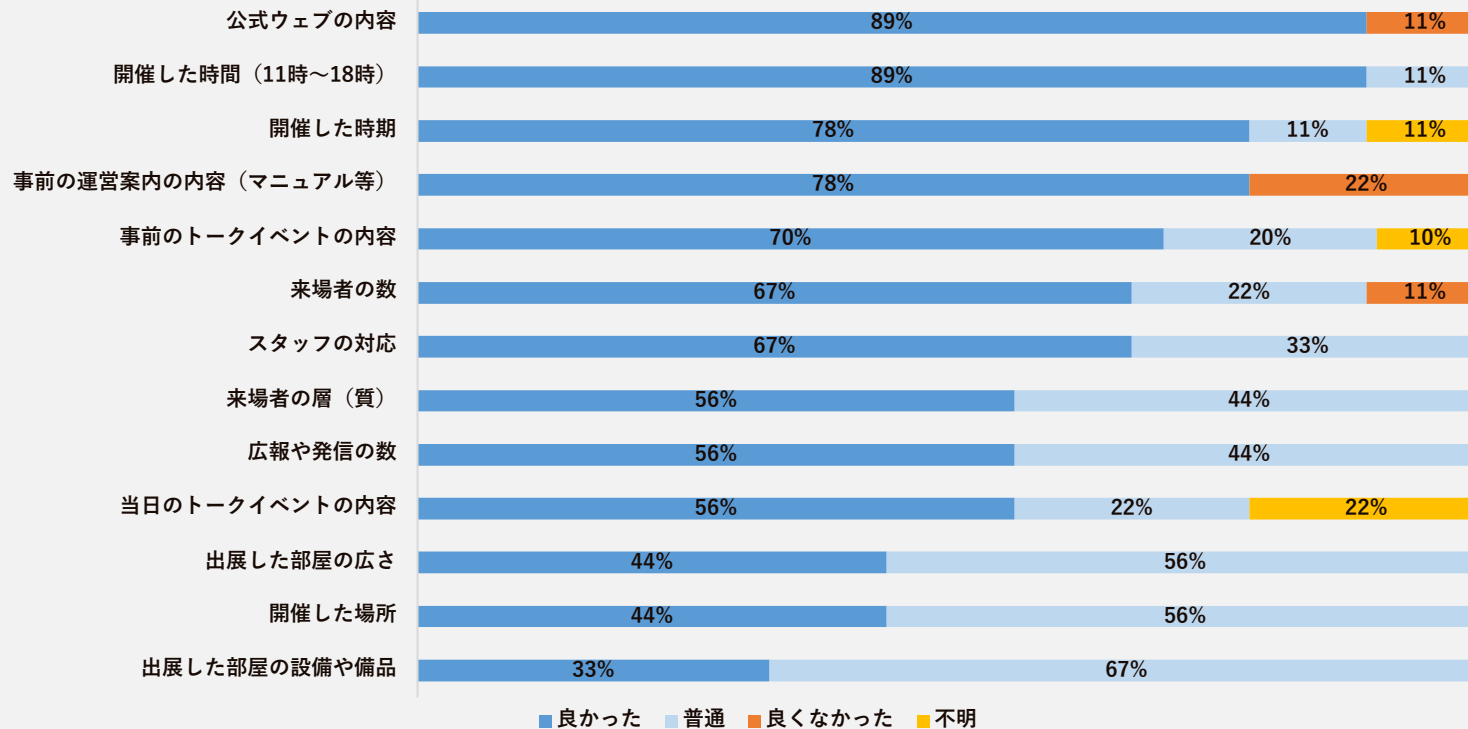
費用対効果



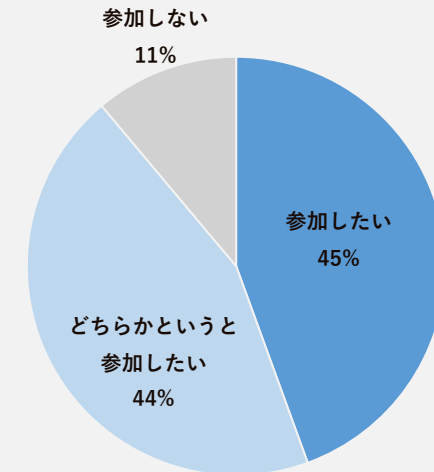
出展者アンケート

- ✓ 内容別満足度は、高い順に「公式ウェブの内容」「開催した時間」「開催した時期」「事前の運営案内の内容」「事前トークイベント」でした
- ✓ 内容別満足度は、低い順に「出展した部屋の設備や備品」「開催した場所」「出展した部屋の広さ」でした
- ✓ 次回も概ね参加したいが89%という結果となりました。参加しないと回答した団体は次の採用予定がないためというコメントをいただきました

内容別満足度



次回の出展について



出展者アンケート

良かった意見

“これまで行った様々な求人広告よりも、確実に打率が高かった。それに加えて、直接応募を考えている方とお話できたことで、事前のミスマッチの解消が双方において出来るという点で意義がありました”

“どんな方がいらっしゃるか、内心不安だったのですが、想像していた以上に専門性の高い人材が数多くいらっしゃり、かつアーティストなど通常のジョブフェアでは出会えない方とも会話や交流ができたので、非常に良かったです”

“求職者、出展者、登壇者含め普段繋がれない方と知り合えてとてもいい機会になりました。1回目の開催にも関わらず、想像以上の集客数でした。広報機会としても、とても有意義な機会になったと思いました”

“スキルマッチングを重視する企業だと、もしかすると物足りなかったかもしれませんが、弊社はカルチャーマッチを重視する企業だったこともあり、思考性と志向性がよく見える本イベントは非常に有意義でした”

“キッズスペースで2日間子供を見ていただいで安心して出展ができました。子供もとても楽しかったようです。出展者も来場者も、子供と参加できる事はメリットになります。埋もれていた人材の発掘にもなると思うのでキッズスペースを継続してほしいと思います”

改善を期待する意見

“アートの業界を支える管理系（総務・経理等）の人材確保は常に難しいと感じています。そういった層も集まり・出会う機会にもなればうれしいなと思いました”

“新卒やキャリアチェンジ向けに、アートに関わる仕事の幅を知る機会やキャリア相談にのってもらえるブースの設置”

“思ったより外国出身の方の訪問があった。そうした方々は新しい仕事を切に求めている。日本でアートの仕事に関わりたいという外国籍の方がアクセスできやすくなれば良いと思いました”

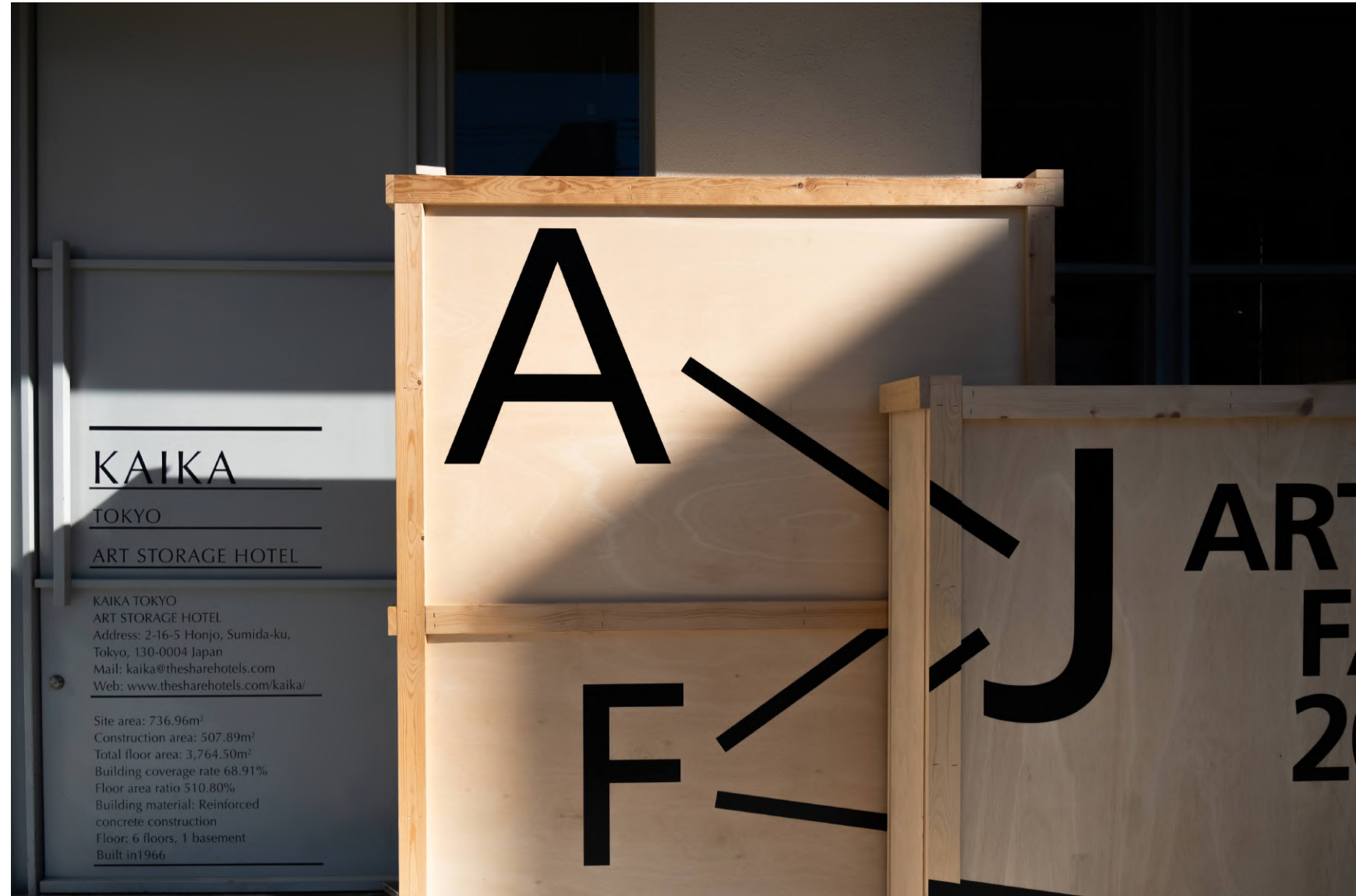
“運営マニュアルを開催2ヶ月前にもらえると、余裕をもって準備ができた。開催1ヶ月前に運営マニュアルが届き、年始休暇後の動き出しと重なり、準備にかかる時間が取れなかった”

“面接のつもりでしっかり書類を作ってスーツで来た方も一部見受けられましたので、もう少しカジュアルなことが伝わっているといいなと思います”

“会場のホテルは素敵でしたが、お子様連れだと駅からの動線や実際に歩いた時の距離が大変だと思いました”

“ブースが完全に独立しているのが、少し入りにくさがあった”

総括



総括

アートの働き方に光をあてた アートジョブフェアで何がみえたか

高山健太郎

2023/1/28（土）1/29（日）に、アートの仕事や仲間に出会える日本初のアート業界に特化したジョブフェア「ART JOB FAIR 2023」を開催しました。「アートの働き方に光をあてる」をテーマに、求人情報をオープンにし、誰でも参加できる透明性の高い、文化芸術の担い手のリアルな出会いの場を目指しました。開催報告書の結びとして、アートジョブフェアを振り返った総括を記載します。

アートの仕事に唯一の正解モデルはない

アートジョブフェアを開催する前までは、アートに関わる仕事は不安定という課題の要因として、有期雇用が多く、不安定な業界を変えていくには、正社員雇用を増やしていくことが正攻法だと考えていました。しかし会場に訪れた様々な求職者に話を聞くなかで、柔軟なワークスタイルを求めている方や、自分自身のやりたいことと仕事のバランスを求めている方も多かったです。

実際に来場したフリーランスの方から、業務委託先を増やしたい、副業先を探したいといった声を聞きました。年齢やライフステージによって、アートワーカーの働き方は想像していた以上に多様で、アートの仕事に唯一の正解はなく、多様なワークスタイルがあることがわかりました。

ひとりの仕事探しを、みんなの仕事探しに

それでは、アートに関わる仕事は不安定という要因は何かと考えた際に、孤独な仕事探しにあるのではと考えました。アートワーカーの仕事探しは、人の紹介やウェブの掲示板で行うことが一般的です。各々の離職のタイミングで行う仕事探しは孤独です。そして仕事の選択肢も、個人の情報やネットワークに限られることが多くあります。そのため労働条件や労働環境が過酷な仕事も選ばざるをえないことがあります。

仕事を辞めても安心感をもたらすセーフティネットのような場は、これまではなく、ここに行けば仕事や仲間に出会えるという、みんなの仕事探しの場に、アートジョブフェアを育てていきたいと思いました。



総括

1 団体の採用活動を、みんなの採用活動に

少子化等を背景に、他の業種の人材争奪戦はますます熾烈になり、これまで以上に採用活動に労力や時間を要することになってきました。（私が生まれた1982年は151万人の出生数がありましたが、2022年は80万人を下回り、急激な速度で少子化が進んでいます）一般的な営利活動を行う業種では、採用コストとして1人あたり100万円程度をかけている試算がありますが、私の知る限りでは、採用にお金をかけている文化芸術団体は多くありません。

アートの業種は文化的価値や社会的価値に重きをおくこともあり、一般的な営利活動を行う業種と比べられないことは確かです。しかしながら急激な速度で少子化が進むなか、採用活動に力をかけないと、担い手の減少が活動環境の脆弱化や、業界の弱体化に繋がりがかねません。少子化社会におけるアート業界の採用活動として、1団体では捻出できない採用活動費を、多くの団体が集まり共に採用活動を行う、という新たな慣習としてアート業界に根付かせたいと思いました。

オープンなジョブマッチングの継続で 労働条件を引き上げるメカニズムができる

今回アートジョブフェアを開催し、アートに関わる仕事に興味を持つ求職者が多いことを実感しました。会期中に訪れた求職者のうち60%はアート業界にジョブチェンジをしたい社会人や、アート業界で働きたい学生など、これまでアート業界に働いたことのない方々でした。

他方で、アートに関わる仕事には依然として労働条件や労働環境が過酷なケースも多くあります。アートの仕事に興味を持つ求職者を、過酷な環境に送り出す場として、アートジョブフェアを行うことは避けたいと強く思います。本事業を継続開催することの意義は、求人情報をオープンにし、誰でも参加できる透明性の高い、リアルな出会いの場を定着することで、魅力的な条件や人気のある職種に注目や関心が集まり、労働条件を引き上げるメカニズムができるのではないかと考えています。

仕事を辞めても安心感をもたらすセーフティネットや、アート業界の新たな採用活動の慣習、そして労働条件や労働環境の底上げなど、これらは一朝一夕に実現できない内容です。しかし文化芸術団体とアートワーカーの方々と共に活動を継続することで、よりよい業態に底上げする好循環が生み出せるのではないかと初回の開催を終えて実感しています。



